

版画のかたち いろいろ

会 期：2019年9月14日（土）～12月22日（日）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日、ただし10月28日、12月16日は開館）、
11月11日～22日、12月2日～4日

版画には、「木版」や「銅版」、「石版(リトグラフ)」などの技法があります。

本展では当館所蔵品の中から、さまざまな技法を用いた版画作品をご紹介します。

池田満寿夫《顔 F》ではドライポイントによる柔らかな描線、式場庶謳子《古代のヒト(母と子)》では、木版の素材で温かみのある表現を見ることができます。

張替正次《クサビ》は2点展示しています。1点はシルクスクリーン、もう1点は油彩で描かれており、素材や表現方法の違いを見ることができます。

また、富岡惣一郎《冬 妙高シリーズ》はシルクスクリーン、関屋俊彦《憧憬・萬代橋8》はリトグラフの技法を用いて、新潟の風景を表現しています。わたしたちに馴染みのある風景が、どのように表現されているかをご覧ください。

多彩な版画の「かたち」をお楽しみください。

作家名	生没年	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)
池田 満寿夫	1934～1997	顔 F	1978 (昭和 53)	ドライポイント、紙	29.5×22.1
式場 庶謳子	1927～	古代のヒト (母と子)	1998 (平成 10)	木版、紙	62.0×45.6
張替 正次	1914～2003	かお	1977 (昭和 52)	シルクスクリーン、紙	36.0×25.0
張替 正次	1914～2003	クサビ	1976 (昭和 51)	木版、紙	35.0×24.5
張替 正次	1914～2003	クサビ	1973 (昭和 48)	油彩、キャンバス	99.7×80.0
張替 正次	1914～2003	回転	1978 (昭和 53)	シルクスクリーン、紙	45.5×38.0
高橋 信一	1917～1986	みわた 水曲	1963 (昭和 38)	木版、紙	48.0×62.0
星 襄一	1913～1979	藪	1974 (昭和 49)	木版、紙	18.5×30.5
富岡 惣一郎	1922～1994	冬 妙高 A	1977 (昭和 52) 頃	シルクスクリーン、和紙	26.4×22.4
富岡 惣一郎	1922～1994	冬 妙高 B	1977 (昭和 52) 頃	シルクスクリーン、和紙	22.4×26.3
富岡 惣一郎	1922～1994	冬 妙高 C	1977 (昭和 52) 頃	シルクスクリーン、和紙	22.4×26.3
吉田 志麻	1939～	青春ジャンボ	2013 (平成 25)	木版、紙	68.0×55.0
関屋 俊彦	1912～2007	憧憬・万代橋 8	1954-1970 (昭和 29-45) 頃	リトグラフ、紙	21.8×33.0